

第9回 聖籠町教育委員会定例会 議事録

日時：令和6年9月25日（水） 15：00～

場所：聖籠町役場3階 第2会議室

委員出席者

近藤朗教育長、佐藤政志委員、佐久間千都委員、高橋真弓委員、
高橋恵委員

事務局出席者

佐藤寿子ども教育課長・宮澤徳昭社会教育課長・渡邊こまき図書館長
・須貝克徳教育未来課長・天野秀一子ども教育課長補佐（書記）

○近藤教育長

これから令和6年第9回聖籠町教委員会定例会を開催いたします。それでは、議事録署名委員の選出をお願いします。

○須貝教育未来課長

本日の会議録署名委員は、佐藤委員をお願いします。

○近藤教育長

では、議案書に入ります。承認第8号専決処分の承認を求めるについて、お願いします。

○佐藤子ども教育課長

それでは、承認第8号専決処分の承認を求めるについて、職員の分限休職処分の決定について（概要説明）

○佐久間委員

簡単でいいので、どのような容態でお休みか教えていただけますか。

○佐藤子ども教育課長

この方は、プライベートで左足の骨を骨折されて、当初、療養休暇と年休を使って、それを全部使い果たして、今回の分限休職処分という形になっています。診断書では10月26日となっておりますが、本人の容態は順調に回復しているという話を聞いております。その後、診断がどう出るかによって、また長引くか、ここで職務復帰になるかという状況でございます。

○佐久間委員

ありがとうございました。

○近藤教育長

その他、いかがでしょうか。はい。承認第8号、専決処分の承認を求めるについては承認いただけますでしょうか。(全員承認)ありがとうございます。では、承認第9号選別処分承認を求めるについて、お願いします。

○佐藤子ども教育課長

承認第9号専決処分の承認を求めるについて、育英資金休止決定について(概要説明)

○佐藤教育委員

留学のために休学した場合、育英資金はもう制度的に無理ということでしょうか。留学すれば、お金がかかるのにとっても。休学していればもう育英資金はもらえないというシステムになっているのでしょうか。

○佐藤子ども教育課長

確認させてもらいます。現状では、その大学へ行くということで許可をしているわけですので、留学となると、その間、違う海外の学校に行かれるということになると思うので、それについては明文化されておられません。仮に、海外に行っても貸してもらいたいという話になれば、当然ここでお諮りして決定してもらうような形にはしなければいけないと思います。例規上、今のところそこまでは謳われていないので、今後他にも改正する部分がございますので、改めてそこも検討させていただければと思います。当然海外へ行くわけですから、もっとお金がかかるというところを踏まえて、貸す方向で検討してよろしいでしょうか。

○佐藤教育委員

育英資金は、経済的に厳しい子に貸与するのがそもそもですので。その子の向学心に基づいて留学したいというもっとお金がいる状況が発生した時に、貸せないよというのは、可哀そうだなと思い、ぜひ前向きにと思っています。

○佐久間教育委員

同じ意見です。

海外留学で学校に行かれるのですよね。働きに行くのだったら止めていいと思うのですが、学校に行くので、学校名を変えてもう1度申請というか、もらえる制度があってもいいのかなと思います。

○佐藤子ども教育課長

わかりました。他、同じでしょうか。他の市町村や国や県の状況も調べさせていただいて、前向きに検討させていただければと思います。予算の兼ね合いもありますが、借り手が徐々に減っていく現状において、町の特質性を出していいと思

います。検討させていただきたいと思います。

○近藤教育長

今通っている大学が休学で、留学から戻ってきたら復帰ということですね。

○佐藤子ども教育課長

はい、確認していませんが、１年間だけ留学するという話で、復帰すると思っていました。

○近藤教育長

大学から戻ってきましたよという証明書をもらって、また。

○佐藤子ども教育課長

そうです。その残り数ヶ月。

○近藤教育長

留学のため、延長できるような制度にしておけばどうですか。

○佐藤子ども教育課長

そうですね。金額はどうするかという部分もありますので。

○近藤教育長

それはご本人たちが決めるという形はどうでしょうか。

○佐藤子ども教育課長

同額レベルであればなんら問題ないかなと思っています。

○近藤教育長

色々ご意見いただきましてありがとうございます。承認第９号専決処分
の承認を求めるについては承認いただけますでしょうか。（全員承認）ありがとうございます。以上で議案を終わります。

○近藤教育長

行政報告です。

- ・８月３１日 CS 合同研修会
- ・９月１日 新図書館車
- ・９月１４日 中学校運動会
- ・９月２８日 幼稚園運動会

ご質問ございましたらお願いいたします。続いて定例報告です。教育未来課長お

願います。

○須貝教育未来課長

- ・実績報告と実施計画
- ・公募制人事
- ・三重県川越町との小学校の交流会 亀代小学校と川越南小学校 12月16日

○近藤教育長

今ほどの説明についていかがでしょうか。

公募制の要項を見ていたら、市町村教育委員会で「面接」が入っていたが、去年も入っていたのでしょうか。今後、面接しないといけないということですか。

○須貝教育未来課長

多分、入っていなかったと思います。確認します。

○須貝教育未来課長

- ・聖籠町教育の日のつどいの流れの案について

○佐藤教育委員

参加者の中には議員さん方は入れないのですね。

○須貝教育未来課長

昨年もおそらくそうだったと思います。

○佐藤教育委員

去年は、こじんまりと大会議室でやっていたような気がするのですが。今回ちょっと大掛かりにね、できたのですけどね。

○須貝教育未来課長

検討します。

○近藤教育長

教育の日の関連で、聖籠町の食育、給食関係の視察に来たいということで10月、県の教育長自ら来られます。給食調理場とか学校給食とか、優秀賞を去年取りましたので、その関係で来られるのだと思います。メニューも地場産を使ってなど指定がありまして…この時期だと砂里芋だろうと、準備を進めているところですよ。

○高橋教育委員

どちらで試食予定でしょうか。

○須貝教育未来課長

山倉小学校です。調理場を見てから移動します。

○近藤教育長

調理場と連携した取り組みをお願いいたします。

○須貝教育未来課長

- ・全国学力学習状況調査の聖籠町における分析結果
- ・放課後子ども教室の状況について
- ・プール水泳委託事業のアンケート結果

○近藤教育長

今の説明についていかがでしょうか。プール水泳委託事業のアンケートで、水泳の学習は楽しかったか、うまくなったか。楽しくなかったとか、うまくならなかったと回答した中には、当日見学で、プール脇で漢字ドリルをやらされたりしていた児童の答えも入っているという話なので、ご了承ください。ではよろしいでしょうか。続いてお願いします。

○佐藤教育委員

学力学習状況調査で2つ確認したいことがあります。1つは、文章表現ですと、結果は「全国並み」、「県並み」、「下回る」という表現になる。課題の1つは「全国平均並」というのは、どの範囲で「平均並み」と線を引いているのでしょうか。それは基準があるのかどうか。その基準は聖籠町での基準なのか、それとも一般的に0から-5までは「並み」としようと、-6から-10までは「下回る」という風にしようという、新潟県か全国かわかりませんが、共通理解の中でする表現、文章表現で説明する、公表すると言った時のその信頼性というかな、それがどうなのか確認させてもらえますか。

○近藤教育長

下越管内の教育長会でも話題になりました。どのように公表すればよいのかということで、その時の下越の回答が、±5あたりまでは同等。-5や+5よりもっと離れた場合は「上回る」や「下回る」と。それと、-10とか+10よりも出た場合は「大きく上回る」や「大きく下回る」ということです。と回答をもらいました。それ以来、その方法で表現しております。

議会で、県比較での答弁をしております。県としては統一した基準は明確には示していないということです。上越の方へ行くと、ある市はもっと厳しく、±2とか3とか、そういうところでラインを作って独自の判断をしているところもあれば、

全く決めてないところもあります。

○佐藤教育委員

わかりました。今ここに示されている結果は、その時期にスパッと縦に切った子どもたちのデータなわけで、今の中3が小6の時にどうだったかというのは、遡らないとわからないデータです。つまり、学力とは、一貫性が当然義務教育の中ではあるわけなので、小6の子たちが 中学校3年間で一体伸ばしているのか、伸ばしていないのか、それとも現状維持なのか、というところを確認したいのです。中学校は、前回も議会の時に非常に学力論争があって、教科センター方式も、そもそも学力を伸ばすための方式なのかという議論もあって。本当に、小6の子たちを聖籠中学校の3年間で伸ばしているのか、伸ばしていないのか、というあたりはどうですか。

○須貝教育未来課長

各小学校6年生の数字を見て、それと中3の数字を見て、比べることをまずしないとダメかなと。今、小6の時のデータがちょっと今手元にありません。

○近藤教育長

6年生だった子が中3でどうなっているかという分析は行っています。近年、中学校でだいぶ向上させてきていると認識しています。今年はあまり、大きく力は上がっていない状況ですが、近年、小学校でこのくらい差があったものが、中学校の段階でこのくらいの差まで来たとなっています。全国的にこういう傾向があるので、ようやくそういう状況になってきたという話はしています。ただ、教科によってその上がり方が大きかったり、小さかったりはしています。中学校は、議会なんかではもっともっとと言われますが、分析すると頑張っているのです。それはそれで認めていかなきゃだめだと思うのです。

小学校も中学校も人事異動で先生方は替わっていきますし、教員不足で教員の数が十分でなく、落ち込むようなところが時々あります。でも、平均してみると、近年、中学校は頑張っているというデータは整理して確認してあります。

○佐藤教育委員

一般論として、小学校は頑張っているのに、比較して中学校の頑張りが足りないというのが長らく言われていました。中学校頑張れよと私は現役の時、盛んに言われていたような気がしていました。小学校全国平均超えているのに、中学校は超えてない。でもV字回復を一時期したという経験もありますし、生徒指導面で言うと、中学校が非常に荒れていた時代が収まって、それが小学校の方に今来ていて、低年齢化して。むしろ小学校が大変で、中学校行くと収まるというのがここ数年、聖籠町では続いていて、そうすると中学校で子どもたちは割と落ち着いて学習できる環境になりつつあるかなというのが、こう肌で感じるものですか

ら。今年はちょっと難しかったようですが、小学校の子たちをしっかりと育ててもらえれば、あとは中学校で伸ばせる、そういう環境に徐々になってきているのかなと思ってお聞きしました。

○近藤教育長

ありがとうございました。その他、よろしいですか。ありがとうございます。

○須貝教育未来課長

- ・ 学古堂夏期講座の結果報告
- ・ 不登校と不登校傾向の児童生徒数と、フレンドルームの通室者数について
- ・ 子ども家庭センターの訪問状況について

○近藤教育長

町の状況の8月の不登校傾向の人数のところですが、これは8月の後半、3、4日あった、そこでの数ですね。瞬間的なところで、登校渋りとか、休み明けでというものが入ってきている。9月に下がればまたよくなると期待してよろしいでしょうか。ありがとうございました。

続いて子ども教育課長、お願いいたします。

○佐藤子ども教育課長

- ・ 学校給食費
- ・ 就学援助の認定結果随時受付
- ・ 学校給食費の収支状況

○近藤教育長

学校給食費について、諮問をして答申をいただいて、それを基に町で決定していくという流れをとっていきたいということです。この値上がり、物価高騰の関係をやはりこのまま継続することは難しい。保護者の方にも負担をしていただきながら、町の支援は継続していきますというような形に持っていけたらと思います。審議の中でどのような話になるか分かりませんので、その答申を待つというような形でやっていきたいと考えているのです。そのような動きでよろしいでしょうか。やるべきではない、270円のままやるべきだというご意見はありませんでしょうか。

○佐藤教育委員

検討する委員はもう決まっているのですか。

○佐藤子ども教育課長

給食運営委員は決まっています。校長、PTA会長という方々です。

○佐藤教育委員

物価が上がっていますし、口に入るものは受益者が当然負担すべきです。本来はもうあげるべきだった給食費を、いろんなことで収めているという太い柱がある一方、気になるのは、県内 30 のうち 4 自治体だったか、給食の無償化をすでに実施していて、給食無償化が進んでいない新潟県内において、ある自治体はもう給食は公費で賄っているという状況があることです。財政的に豊かだと言われている聖籠町はなぜしないのか、という考えがあります。

結果的に私たちが希望するような予算もあって、増額の方へとなればいいですが、据え置きだとか、それよりも行政頑張っ、給食無償化に行けと。私はこちらの意見の方があるかなという気がするのですが、そうなった時がやや心配です。諮問はあくまでも諮問で、公平な立場で審理してもらうわけです。現状のまま、もしくは現状よりももっと進めという意見は当然出てくる可能性があります。その見通しはどうでしょうか。

○佐藤子ども教育課長

一応、白紙諮問という形で事務局は考えておりますので、そういった意見が出てきたら、それはそれでまた教育委員会の皆さんにこういう意見でしたというのを諮りして、という形になろうかと思っております。ただ、町の財政状況だけではなくて、今、各市町村の物価高騰対策支援事業の補助金は、その単年度で終わってしまっていて、どこの市町村も全部それを投入して、給食費をあげないようにしていたのですが、あちこちの市町村から聖籠町はどうしますか。という電話が今来ている状況です。どこの市町村も同じ状況なので、どうするかと。一方で、先ほど佐藤委員がおっしゃったように、政策として法律上は、基本自分で食べるものだから、自分で負担しなさいというのは、学校給食法で決められているものです。政治的に施策として、無償化にしますという部分は、相反する部分がありますが、教育委員会の意見も踏まえて、長に対して投げかけは必要と思っています。このままですと、試算で 1200 万ぐらい町の負担は増えています。この後、米が間違いなく上がると言われています。当然、聖籠産のコシヒカリを町の施策として、食べさせたいとしていくと、さらに負担は増えていきます。

一方で、国の方で給食無償化というのは 内閣府の方からも出てはいるのですが、具体的なものが示されていないので、国の動きが見えません。実情としては、実態に合わせたやり方にしたいというのが事務局の考えてございます。以上です。

○佐藤教育委員

はい。ちなみに、これはいつ諮問するのですか。

○佐藤子ども教育課長

この委員会でその方向が出れば、早々にその給食運営委員会の方に、会議の日

程を調整しまして、諮問したいと思います。

○佐藤教育委員

当然、これ1回では終わらないですね。

○佐藤子ども教育課長

どうなるかはその委員会次第なので、前回でいくと2回で終わっていますけれども、今回近隣市町村の状況を確認し、それらのデータを合わせて提示したときにどうなるかというところです。

○佐藤教育委員

行政としては、あくまで筋論で行くのですが、地域住民からすれば、負担がないのに越したことないわけですから。私がPTA会長だったら、子供の負担はダメだろうと。聖籠町は、ただでさえ子育てで人を呼んでいるのに、それぐらい行政は頑張れと。そういう中で、値上げの方向性を提案するのであれば、よっぽど骨太の筋をもって行って、もう本当に泣く泣くお願いしますという形で持っていくしかないかなという感じはしました。

○佐藤子ども教育課長

ありがとうございます。

○近藤教育長

その他、いかがですか。では流れの確認です。

ここで運営委員会に、諮問するということが了承されたということで、では諮問すると。答申が出てきて、それをまたどのタイミングの教育委員会になるかわからないけれども、それでこういうのが出ました、教育委員会としては、どう判断されますか。ということを協議していただく。答申ではこう言っているけど、こうあるべきだと。ご意見は、その時に出てくるわけですね。

○佐藤子ども教育課長

委員会として方向性を決定し、要項の改正、その後、町長に、教育委員会としての結論を報告し、施策でどうするかという話が出てくるかと思います。

○近藤教育長

よろしくお願いいたします。いかがでしょうか。ありがとうございます。社会教育課長、お願いします。

○宮澤社会教育課長

・実績報告と実施計画

- ・ 10 月 6 日 町防災訓練
- ・ 10 月 14 日 スポレク祭
- ・ 社教だよりに CS 合同会議の時の写真掲載
- ・ 中学生の私の主張 高橋さんが、三市北蒲の体表で県大会出場（9 月 22 日）

○近藤教育長

ありがとうございます。では、何かございますか。

○佐藤教育委員

今の高橋さんの発表を聞く機会はないということだったのですが、例えば、「教育の日のつどい」のところで発表してもらうのは難しいでしょうか。多分 5 分以内ぐらいのスピーチだと思うのですが、そういう時に 3 年生で申し訳ないのですが、来てもらってちょっと話してもらうなどできないかなとおもったものですから。日程上、難しいですね。

○近藤教育長

学校での発表はなかったのですか。

○須貝教育未来課長

学校では 1 回あったと聞きました。

○高橋恵教育委員

この前回の定例会のあと何日か後ぐらいに、朝の朝会かなんかで発表があったようです。夕方のニュースでも出ていたのを見て、この県大会の様子が、ちょうど玲さんがこう、ジェスチャーをしながら喋っている様子が出ていてすごいなと思いました。

○近藤教育長

その他、いかがですか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。では図書館長、お願いします。

○渡邊図書館長

- ・ 8 月 9 月事業実績及び 9 月 10 月の事業予定
- ・ 8 月の図書館の利用状況について
- ・ 10 周年記念事業として複数事業を予定
- ・ 10 周年記念、（10 月 27 日開催）「シゲちゃん一座がやってくる」の入場整理券について、予定数の配布が終了。図書等の物販も予定

○近藤教育長

図書館の話についてはいかがでしょうか。よろしいですか。ありがとうございます

ます。以上で、定例報告を終わります。

○須貝教育未来課長

次回定例会を、10月25日（金）9時半でいかがでしょうか。（全員承諾）

○近藤教育長

ありがとうございました。以上をもちまして令和6年第9回聖籠町教育委員会定例会を終了いたします。お疲れ様でした。

以上のとおり、令和6年第9回定例会の会議議事録に相違ないことを証明する。

令和6年10月25日

教育長

委 員
